

委員会審議	平成29年1月19日
-------	------------

申請者	病理診断部長	南 優子
1	悪性胸膜中皮腫の前方視的データベース研究	
研究の概要	悪性胸膜中皮腫の発生には、石綿の曝露が大きく関与しており、曝露からの潜伏期間が30-40年と言われており、我が国では2020年から2030年代がピークとなる見込みで、近年、国際的に共通の病期の確立の必要性が認識され、世界肺癌学会と国際中皮腫研究会が中心となった後方視的国際データベース事業がおこなわれ、我が国からも世界で5番目に多い症例を登録している。しかしこのデータベースでは、悪性胸膜中皮腫治療の真の現状を反映していないので、本邦の肺癌登録合同委員会が悪性胸膜中皮腫症例の前方視的データベース事業を行うことになり、当院もその1施設となった。	
判定	承認	本審査は全員一致で承認された

z

委員会審議	平成29年1月19日
-------	------------

申請者	12病棟看護師	人見 智恵
2	患者のプライバシーを守る行動と意識の向上	
研究の概要	12病棟では入浴に使用するホールは出入口に近くカーテンのない窓もあり開放的な構造で、プライバシー保持への配慮が不足していると感じながら入浴介助を行っている。そのため写真を掲示して12病棟の職員にプライバシーの保持に関する問題点をKJ法で明らかにする。	
判定	条件付承認	本審査は条件付で承認された

委員会審議	平成29年1月19日
-------	------------

申請者	外来看護師長	高梨 悦枝
3	HOT記録から在宅での管理状況を知る	
研究の概要	当院に通院しているHOT患者(平成28年6月に管理指導料を算定した患者218名について、カルテから、性別、年齢、携帯用酸素ボンベ使用歴、携帯用酸素ボンベ使用支援者の有無、独居の有無、予約外受診の有無、入院歴、通院手段を入手し、HOT記録用紙から、バルブの開閉状態、電源、電池残量の有無、酸素残量の有無、指示酸素流量の可否、予備ボンベの有無について調査	
判定	承認	本審査は全員一致で承認された

委員会審議	平成29年1月19日
-------	------------

申請者	地域医療連携室 副看護師長	小林 美晴
4	在宅での酸素使用状況の実態調査 ～訪問看護を実施した患者のカルテレビュー～	
研究の概要	平成27年11月から平成28年6月の期間に訪問看護を実施した患者25名についてカルテレビューを行う。	
判定	承認	本審査は全員一致で承認された

委員会審議	平成29年1月19日
-------	------------

申請者	5病棟 看護師長	小森 由美
5	隔離状況下にある高齢者結核患者への運動介入プログラムの効果を検討する	
研究の概要	高齢者の場合、抗結核薬による治療開始後、副作用の出現により治療中断となる場合や、ADLが低下する場合もある。陰圧室の場合は、1ヶ月から3ヶ月の入院となることがあり、その隔離された状況の中での高齢結核患者への運動介入プログラムの効果を検討する。	
判定	不承認	大学との共同研究であり、大学での倫理審査承認後、再審査